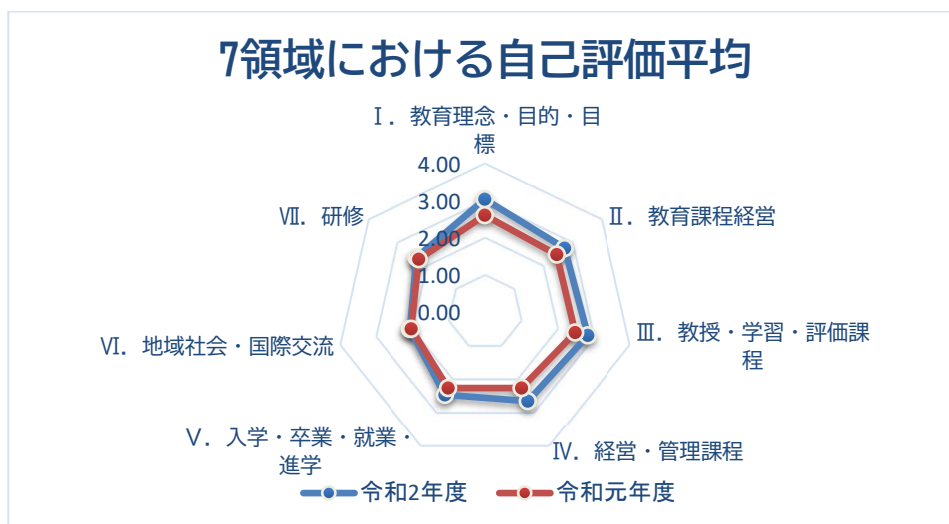


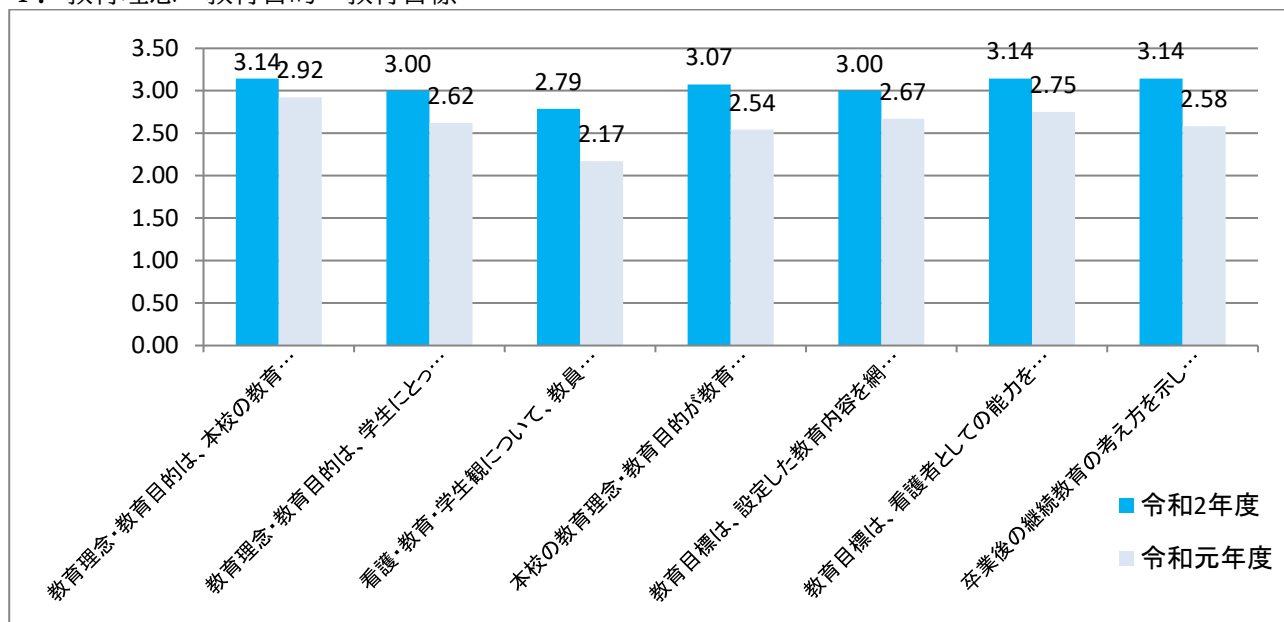
令和2年度 自己点検・自己評価の結果



【集計・分析方法】

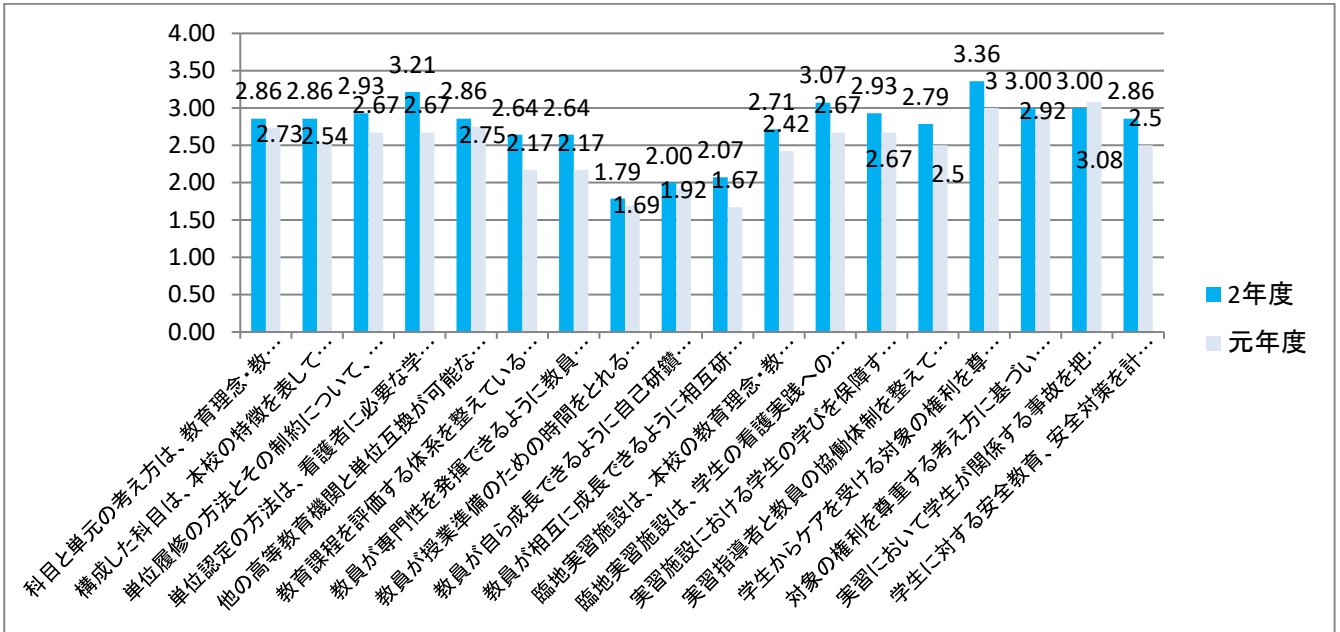
アンケートの対象は15名で、14名から回答を得ることができた。
 「A：そう思う」を4点、「B：ややそう思う」を3点、「C：あまりそう思わない」を2点、「D：そう思わない」を1点とし、平均値を算出しグラフ化したものを載せている。無回答は平均値の分母から除外した。

I. 教育理念・教育目的・教育目標



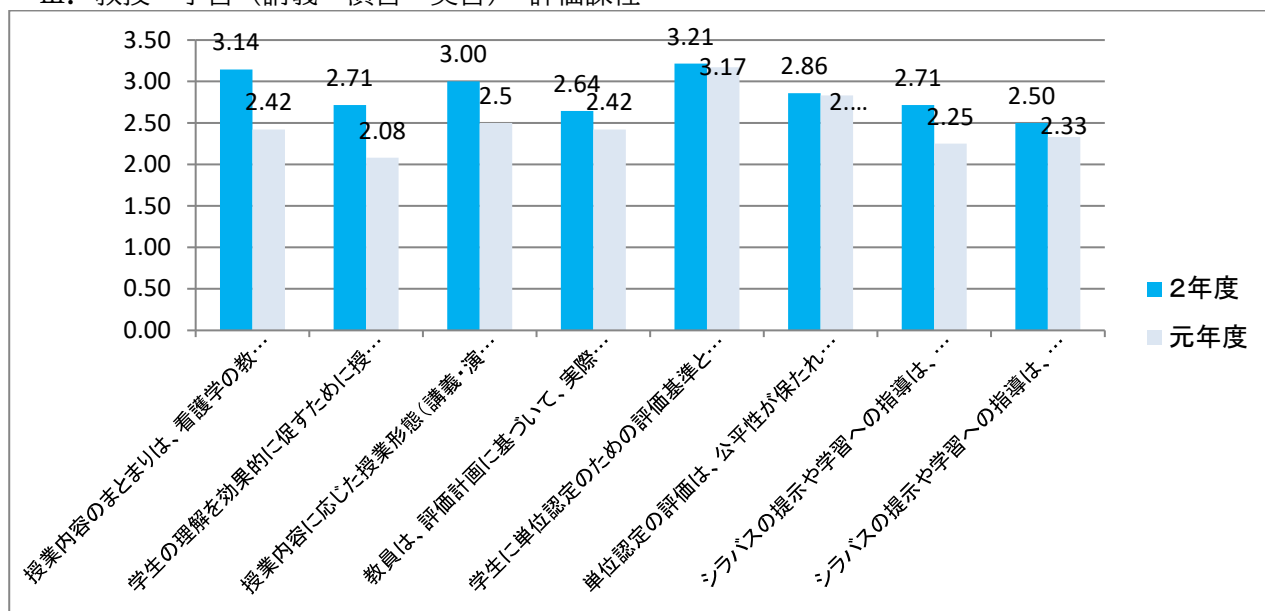
1	教育理念・教育目的は、本校の教育上の特徴を示しており、かつ、法との整合性があるか。
2	教育理念・教育目的は、学生にとって学修の指針になるように具体的に明示され、実際に指針となっているか。
3	看護・教育・学生観について、教員の教育活動の指針となるように明示され、実際に指針となっているか。
4	本校の教育理念・教育目的が教育目標と一貫しているか。
5	教育内容は、設定した教育内容を網羅しており、かつ、卒業時の学生の到達度が明示されているか。
6	教育目標は、看護者としての能力を育成する側面と修学者としての成長を促すための側面から設定されているか。
7	卒業後の継続教育の考え方を示した上で看護基礎教育として、教育目標を設定しているか。

II. 教育課程経営



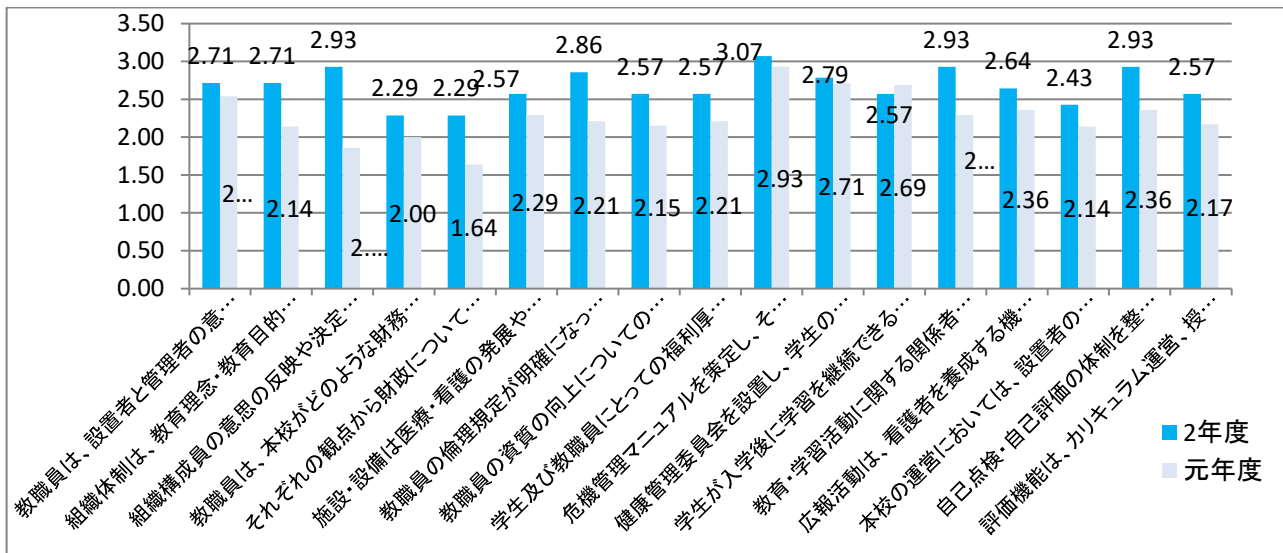
1	科目と単元の考え方は、教育理念・教育目的・教育目標と整合性があり、明確な根拠をもっているか。
2	構成した科目は、本校の特徴を表しており、看護者を養成するのに妥当であるか。
3	単位履修の方法とその制約について、教員・学生の双方が解るようになっているか。
4	単位認定の方法は、看護者に必要な学修を認めるものとして妥当であるか。
5	他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えているか。
6	教育課程を評価する体系を整えているか。
7	教員が専門性を発揮できるように教員の担当科目と時間数を配分しているか。
8	教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えているか。
9	教員が自ら成長できるように自己研鑽のシステムを整えているか。
10	教員が相互に成長できるように相互研鑽のシステムを整えているか。
11	臨地実習施設は、本校の教育理念・教育目的、教育目標を理解しているか。
12	臨地実習施設は、学生の看護実践への学修を支援する体制を整えているか。
13	実習施設における学生の学びを保障するために臨地実習指導者と教員それぞれの役割を明確にしているか。
14	実習指導者と教員の協働体制を整えているか。
15	学生からケアを受ける対象の権利を尊重するための考え方を明示しているか。
16	対象の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っているか。
17	実習において学生が関係する事故を把握し、分析しているか。
18	学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っているか。

Ⅲ. 教授・学習（講義・演習・実習）・評価課程



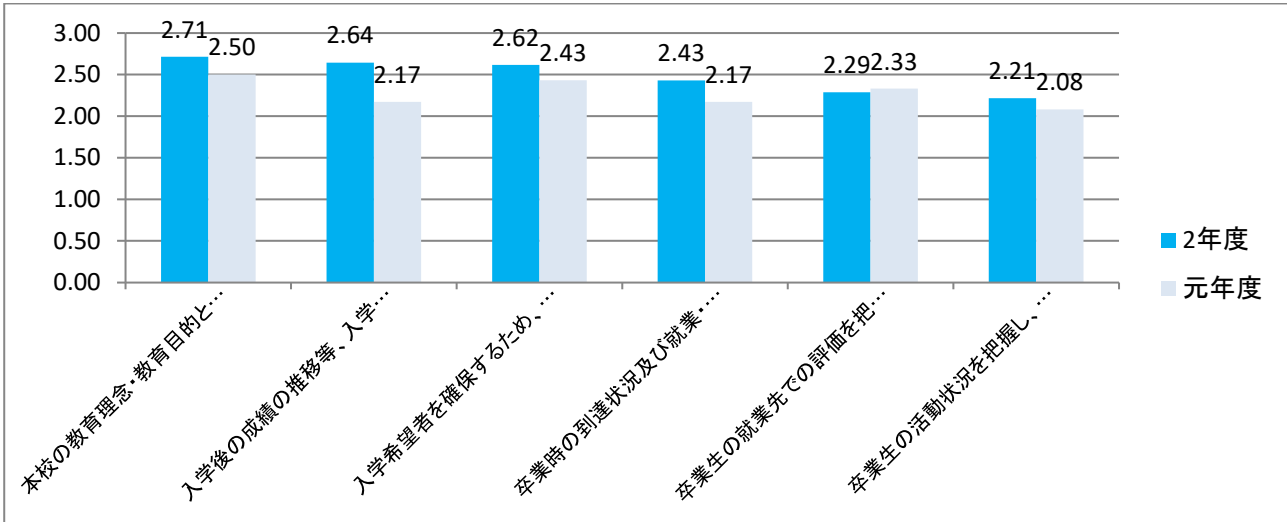
1	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか。
2	学生の理解を効果的に促すために授業内容の重複や整合性、発展性などが明確になっているか。
3	授業内容に応じた授業形態（講義・演習・実験・実習）を選択しているか。
4	教員は、評価計画に基づいて、実際に授業を改善しているか。
5	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか。
6	単位認定の評価は、公平性が保たれているか。
7	シラバスの提示や学習への指導は、本校全体として一貫性があるか。
8	シラバスの提示や学習への指導は、主体的な学習への動機づけと支援になっているか。

IV. 経営・管理課程



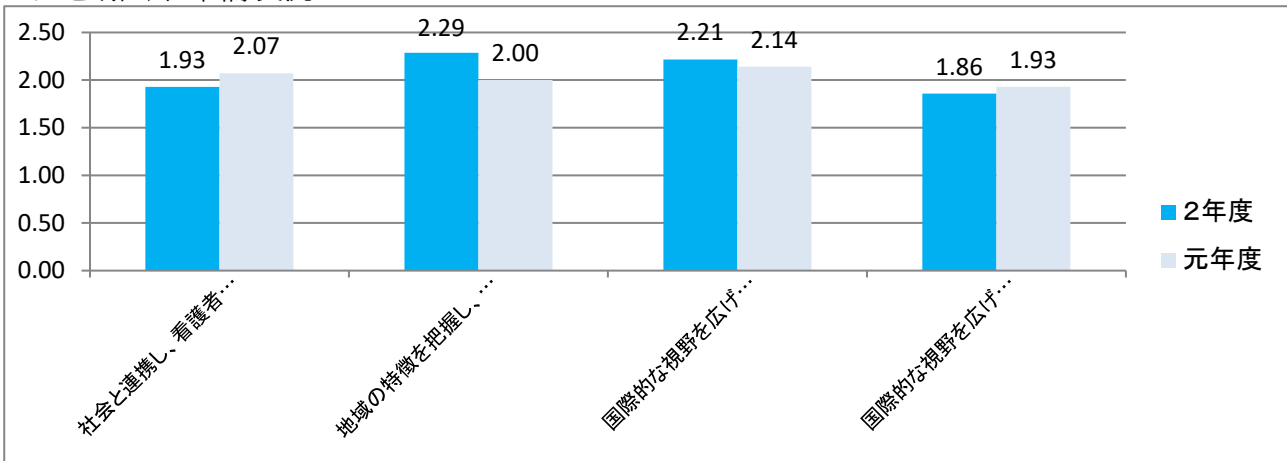
1	教職員は、設置者と管理者の意志・指針を理解しているか。
2	組織体制は、教育理念・教育目的を達成するために意思決定のシステムや権限、役割機能が明確になっているか。
3	組織構成員の意思の反映や決定事項を周知できるような体制を整えているか。
4	教職員は、本校がどのような財務基盤によって成り立っているかを理解しているか。
5	それぞれの観点から財政についての教職員の意見を経営・管理過程に反映できるようになっているか。
6	施設・設備は医療・看護の発展や学生の変化に合わせて計画的に整備改善しているか。
7	教職員の倫理規定が明確になっているか。
8	教職員の資質の向上についての考え方と対策は、教育理念・教育目的の達成と整合性をもっているか。
9	学生及び教職員にとっての福利厚生施設・設備は、学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるように整備されているか。
10	危機管理マニュアルを策定し、それに基づき防犯・防災（避難）訓練を行うなど、安全確保の体制を整えているか。
11	健康管理委員会を設置し、学生の健康管理を支援するための年間計画を立案・実施・評価を行っているか。
12	学生が入学後に学習を継続できる支援体制を多角的、かつ学生が活用しやすいように整え、実際に学生生活の支援になっているか。
13	教育・学習活動に関する関係者（保護者等）への情報提供を行うことによって、その協力支援を得ているか。
14	広報活動は、看護者を養成する機関として、その存在を十分にアピールし、かつ社会的説明責任を果たす内容と方法になっているか。
15	本校の運営においては、設置者の将来構想の下に運営の中期・短期計画、年間計画を立案し、実施・評価を行っているか。
16	自己点検・自己評価の体制を整え、学校評価として運用しているか。
17	評価機能は、カリキュラム運営、授業実践にフィードバックし、教育理念、教育目的、教育目標を維持改善するものとなっているか。

V. 入学・卒業・就業・進学



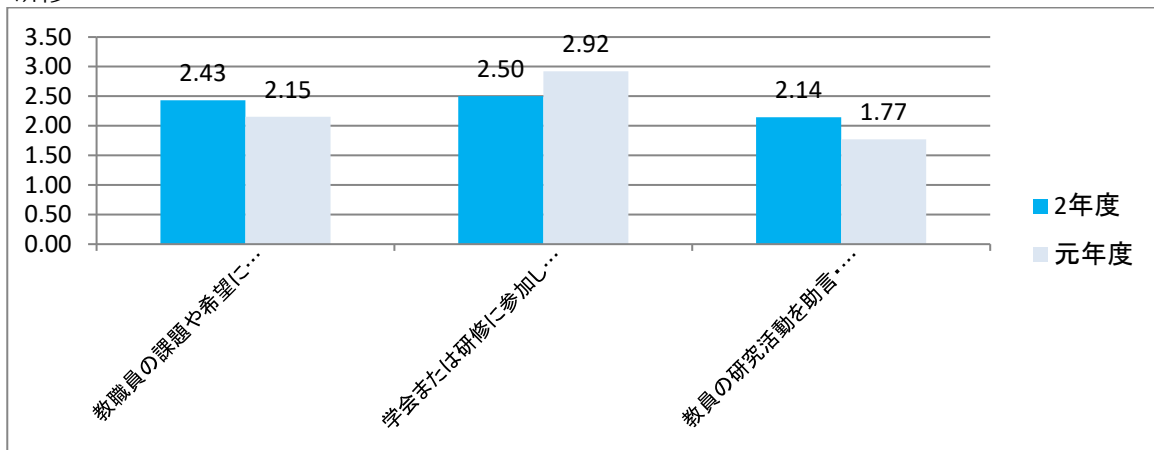
1	本校の教育理念・教育目的との一貫性から、入学選抜の考え方を明確にしているか。
2	入学後の成績の推移等、入学者の状況を分析し、選抜方法の妥当性を検証しているか。
3	入学希望者を確保するため、積極的な募集を行っているか。
4	卒業時の到達状況及び就業・進学状況を分析し、教育理念・教育目的との整合性を検証しているか。
5	卒業生の就業先での評価を把握するために就業先との情報交換や調査ができる体制を整えているか。
6	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理して、教育理念・教育目的・教育目標、授業の展開に活用しているか。

VI. 地域社会・国際交流



1	社会と連携し、看護者養成のための教育活動を通して、地域社会への貢献を組織的に行っているか。
2	地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を本校の学習・教育活動に取り入れているか。
3	国際的な視野を広げるための授業科目を設定しているか。
4	国際的な視野を広げるための自己学習に適した環境が整っているか。

VII. 研修



1	教職員の課題や希望に沿った職場内研修を行っているか。
2	学会または研修に参加した成果を他の教職員に還元するしくみがあるか。
3	教員の研究活動を助言・検討する体制が整っているか。